農林水産部 森林管理課

令和５年度　沖縄県県民の森指定管理者制度運用委員会における モニタリングの検証結果について（令和４年度実績分）

１．施設名：沖縄県県民の森

２．開催日時：14 時 00 分～15 時 15 分

３．開催場所：沖縄県庁９階第４会議室

４．出席者：委員４人中　３人出席

（委員長）	神谷　繁
（委員）	篠原　礼乃
（委員）	港川　実美
（事務局）	沖縄県森林管理課 宇地原課長、資源活用普及班 今田班長、資源活用普及班 岸本
（指定管理者）	沖縄北部森林組合

５．検証事項：沖縄県県民の森（令和４年度実績）に係るモニタリングの実施結果

６．検証内容

(1)　モニタリングは適正に行われているか。
(2)　指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
(3)　利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

７．検証方法

(1)　事務局によるモニタリングの実施結果の報告
(2)　委員からの質疑・意見

８．検証結果

施設の管理運営は概ね適切になされている。

９．主な質疑・意見

〇財務では収支がマイナスになるのは近年、光熱水費の高騰により、指定管理者の負担が大きくなる一方である。今後も更なる光熱水費の高騰が続き、指定管理者の負担が更に大きくなる場合、指定管理者の負担を軽くするために、指定管理料増を行うといった予算計上を諮る必要があるのではないか。

→情勢により指定管理者が施設運営する上で負担になっており、令和３年度に電気高騰分の予算化検討したが、出来なかった。また、他の施設も同様に予算化できていない。今後、指定管理者の負担になっている場合は、予算要求を行っていきたいと考える。

〇新施設の PR について HP で早めに確認できるように整えた方が良いのではないか。また、学校や団体に PR することで施設の利用促進に繋がるのではないか。

→指定管理者と調整したうえで、HP での新施設（特に研修室、木工室）の PR を行っていく。学校や団体にも県民の森を周知し利用促進に努める。

〇遊具撤去により、利用者数が減少傾向ではあるが、遊具の新設の取組だけでなく既存施設の魅力発信や PR する等を行い、利用者を確保するべきではないか。

→既存施設の有効活用がまだまだできていないので、PR 出来ていないのが課題である。施設、広場の周知するよう努める。

〇中央広場は他広場と比べて利用が少ない理由は、利用料金がかかるからではないか。それが理由で無料の他広場に集中するのは仕方ないのではないか。

→中央広場は全面貸出の場合のみ利用料金を徴収している。また、団体で子ども達が利用する場合は減免申請により無料で使用することが可能である。有料広場の無料で利用する方法について周知していく。

〇焚き火については利用者からの要望が多数であることから今後行う予定なのか。

→焚き火については現在禁止している。焚き火を使用許可する場合は恩納村との調整を行ったうえで協議書等を締結する。

１０．会議の公開状況：公開

指定管理者制度導入施設　モニタリングシート

施設名称	沖縄県県民の森	対象年度	令和4年度

【 目 次 】

Ⅰ. 履行確認・評価

1. 維持管理業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(1) 清掃
(2) 保守・点検
(3) 保安・警備
(4) 小規模修繕
(5) 備品購入
(6) 防犯・防災対策
(7) 料金徴収業務
(8) 植栽管理

2. 運営業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

(1) 利用実績
1) 利用者数等 （又は入居率等）
2) 施設稼働率
3) 教室・イベント等参加者数
(2) 運営企画
(3) 受付・接客
(4) 広報
(5) 情報管理

3. 自主事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 ・・・・・・・・・・・・ 11

1. 事業収支
(1) 収入
(2) 支出

2. 経営分析指標

Ⅳ. 総合評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

1. 目標
2. 評価結果

附表 経営状況分析シート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

指定管理者制度導入施設　モニタリングシート

施設名称	沖縄県県民の森	対象年度	令和4年度
指定管理者	沖縄北部森林組合 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	農林水産部 森林管理課

Ⅰ. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 ・園内の利用頻度の多い場所を巡回し、紙くず、空き缶等の不法投棄物を速やかに除去する。 ・トイレは1日3回以上巡回点検し清潔な環境を保つように努める。	○		・休園日を除き2名の清掃員が実施。 ・建物内のトイレについては各施設担当者による清掃を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。仕様書に従い適切に実施。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 園内の美化を保つため、適正に対応している。 【課題】 外部トイレにおける虫の発生について対策を検討する必要がある。
〈定期清掃〉 ・園内の清掃については、巡回による清掃と定期的に行う清掃により衛生的な環境を保持するとともに、美観の保持に努める。	○		・定期的に側溝等の枯れ葉除去等を清掃員及び作業員により実施。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃及び検査 １回/年		○	貯水槽清掃及び簡易水質検査を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 年間に使用する水が、本来毎月100m³以上あるのに対し、コロナ禍の影響により100m³を下回っている。水の循環がないことから、沈殿物が発生したため、除去を行った。 【課題】 花園等散水やトイレ清掃等で可能な限り水の循環を促進させる必要がある。
浄化槽維持管理 ２回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
ガス点検　適宜		○	業者の定期検針点検及び職員による点検を日常的に行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
消防用設備点検 ２回／年		○	消防用設備点検について、専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(3) 保安･警備

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析･課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
電気保安業務 １回/月		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
施設における機械警備　通年		○	警備専門業者に委託し、機械警備を実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
夜間（常駐）警備		○	キャンプ場の宿泊利用期間中における夜間警備を専門業者に委託し、適切な防犯対策を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析･課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
修繕費 300,000円	○		基本協定第19条に基づき、施設・設備等の小規模修繕（目安：１件修繕30万円未満）については適切に行った。 実績： 838,783円	事業報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。経年劣化が著しい施設が多くなっており、指定管理者の負担が増えているため、県で予算を確保し、指定管理者と連携しながら修繕を実施した。	金額の大きな修繕については県で実施したが、実績額が事業計画額を上回っている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 経年劣化等により修繕の必要な箇所が多いため、事業計画額よりも実績額が多くなっている。優先度の高い箇所から計画的に修繕を実施していく。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析･課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入費 ０円	○		実施なし	実施なし	－	県の予算で、消耗の高いテント等を必要に応じて購入する。

(6) 防犯･防災対策

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析･課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園利用者及び職員の安全管理、施設の適正な維持、園内の秩序を図る。 ・連絡体制を図示し張り出す ・危険箇所に立て札等を設置する ・焚き火を禁止する ・消火器等を点検する ・農薬、燃料を適正に保管する等	○		危機管理マニュアルに基づき、適切に運用した。 ・連絡体制図を各窓口に掲示した ・危険箇所に立て札等を設置した ・消火器等を点検した ・備品等は、定期的に数量や状態の確認を行い、所定の場所で適切に管理した。 ・防火管理者を選任し、消防計画に基づく消火、通報及び避難訓練を実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 実態にあわせてマニュアルや管理体制の見直しが行われている。 【課題】 特になし

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析･課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
料金徴収フローチャートを作成し、経理係を設け、売上金額の照合を毎日行う。金庫を設置し、入場者の申込書、売上金、釣銭の管理を行う。金銭は北部森林組合事務所（名護市）へ運び金庫で管理する。	○		・料金徴収フロー図を作成し、各施設に備え付けて適切に対応した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施を確認。多言語対応版（英・中・台・韓）の料金表を含むパンフレットを受付で配布している。	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 実態にあわせてフロー図や管理体制の作成が行われている。 【課題】 特になし

(8)植栽管理

事業計画	実施主体(該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
統括責任者は、作業員に対して作業箇所や作業方法等を十分に説明し、作業にあたらせる。また、機械類は、始業点検・整備を確実に行い作業効率の向上のほか、危険防止に努める。なお、作業を行う上で発生した剪定枝等は処理業者に委託するなど法令に従い適	○		・公園管理責任者及び作業員４名により仕様書を基準にし、必要に応じて適宜実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施を確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし

※必要に応じて項目を追加･削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析･課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	○開園から30年が経過し施設の老朽化が著しい県民の森においては、今後の公園のあり方等を見直した上で、「沖縄県公共施設等総合管理計画」に基づき令和元年度に施設の個別施設計画を策定した。今後は計画に基づき施設の長寿命化を図り、適切に管理していく。令和5年度中に「沖縄県公共施設等総合管理計画」の見直しを行う予定である。 ○大規模な修繕については、修繕料を県で予算化し、積極的に修繕を行っていく。

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度（R4年度）の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

単位:人

		令和3年度実績	事業計画（目標値）	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	85,761	99,467	85,937	100%	86%	【現状分析】 H28・29年度に遊具撤去に加え、コロナ禍により利用者数が半減しているものの、施設利用及び備品貸出制限の緩和により、利用者数は前年度より微増（H27年度は約20万人）。 【課題】 新型コロナ収束後に来園者増加を目指し、リニューアルオープンした2施設を中心に広報活動に積極的に力を入れる必要がある。また、撤去された外部遊具の要望を求める声もあり、利用者ニーズを満たすうえでも遊具の整備が必要である。
	団体利用者数	3,979	5,872	6,460	162%	110%	
	イベント参加人数	0	47	59		126%	
	計	89,740	105,386	92,456	103%	88%	

評価（①利用状況）	B

※コロナ禍の影響を考慮した上での目標値になります。

【評価基準（①利用状況）】
目標値に対する達成率
Ｓ：110%以上
Ａ：100%以上、110%未満
Ｂ：80%以上、100%未満
Ｃ：80%未満

2) 施設稼働率

単位:日

		令和3年度実績	事業計画（目標値）	令和4年度実績	整合性の検証 前年比	整合性の検証 計画比	現状分析・課題
①平日稼働率	シャワー室	63日	57日	127日	202%	222%	【現状分析】 一部屋外施設を除いて、屋外施設の利用が増加傾向にある。特にシャワー室、キャンプ場の利用が大幅に伸びている。 【課題】 リニューアルオープンしたが、屋内施設の稼働率が低調であるため、稼働率向上の工夫が必要である。
	キャンプ場	95日	96日	161日	169%	168%	
	パークゴルフ場	30日	38日	48日	160%	127%	
	グラウンドゴルフ場（スポーツ広場）	2日	10日	6日	300%	59%	
	中央広場	21日	36日	18日	86%	50%	
	研修室（木のふれあい館内）	－	9日	3日		32%	
	木工室（森のふしぎ館）	－	－	0日			
②土日祝日稼働率	シャワー室	56日	59日	97日	173%	166%	【現状分析】 コロナ禍が収束後から、シャワー室、キャンプ場は昨年度よりも利用が多いが、その他屋外施設は昨年度と同程度であった。 【課題】 屋外施設の稼働率は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、稼働率を上げる努力を続ける必要がある。また、リニューアルオープンした屋内施設の活用のＰＲをする必要がある。
	キャンプ場	70日	83日	105日	150%	127%	
	パークゴルフ場	60日	68日	69日	115%	101%	
	グラウンドゴルフ場（スポーツ広場）	3日	11日	3日	100%	27%	
	中央広場	16日	26日	8日	50%	31%	
	研修室（木のふれあい館内）	－	7日	2日		30%	
	木工室（森のふしぎ館）	－	－	2日			
①②合計	シャワー室	119日	116日	224日	188%	194%	
	キャンプ場	165日	179日	266日	161%	149%	
	パークゴルフ場	90日	106日	117日	130%	110%	
	グラウンドゴルフ場（スポーツ広場）	5日	22日	9日	180%	42%	
	中央広場	37日	62日	26日	70%	42%	
	研修室（木のふれあい館内）	－	16日	5日		31%	
	木工室（森のふしぎ館）	－	－	2日			
計						95%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価（①利用状況）	B

【評価基準（①利用状況）】
目標値に対する達成率
Ｓ：110%以上
Ａ：100%以上、110%未満
Ｂ：80%以上、100%未満
Ｃ：80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績　　単位：人

	内容	令和3年度実績	事業計画	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
イベント	きずな駅伝大会	中止	【3区間3名50組・5区間5名50組】	中止	－	－	【現状】 新型コロナの影響により、中止（運営協議会によりきずな駅伝の中止の旨が決定していたため）。 【課題】 次年度はコロナ禍の影響による中止はほぼないと思うが、期間が空いているため、実施するための計画等を県と調整する必要がある。
	乗馬体験	－	500	325	－	－	【現状】 新型コロナウイルスの規制緩和により、少人数でのイベントの場合は行われた。 【課題】 令和4年度にリニューアルした森のふしぎ館の木工室の利活用が少ないため、木工室でも開催可能なイベントを考えていく必要がある。
	どんぐりクラフト作り	－	30	32	－	－	
	葉っぱでバッタ作り	－	20	11	－	－	
	しめ縄作り	－	40	16	－	－	
	わくわく木もくフェア	－	－	226	－	－	【現状】 10月22・23日よりリニューアル施設のオープン記念のイベントを実施した。 【課題】 特になし。
計		－	590	610	－	－	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	（事業報告書）	（現地確認）		
〈開園日数〉 県民の森の休園日は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第９条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第９条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし
〈開園時間〉 県民の森の開園時間は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体（該当者に○印）		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	（事業報告書）	（現地確認）		
・入園者に対し、パンフレット等の配布と各施設の利用案内を行う。 ・用具の使用方法を説明し、指導する。	○		・事業計画に基づき各施設担当者により実施。	・施設利用案内等は概ね適切に行われている。	・計画どおりに実施した。	【現状分析】 新型コロナウイルス感染症の影響により消毒作業を行っている。 【課題】 特になし

(4) 広報

事業計画	実施主体（該当者に○印）		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	（事業報告書）	（現地確認）		
・印刷製本費（リーフレット発注費等） 35,200円 ・広告費（新聞広告、看板等） 40,568円 計75,768円	○		イベントの中止により計画した広報活動ができなかった。	ホームページ上にアンケートへのリンクやパンフレットのデータを掲載している。	・事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 新型コロナの影響でイベントが中止になり、広報活動が困難であったが、HP上にアンケートへのリンク・パンフレット等を掲載している。 【課題】 イベント告知や園内の有用な情報を積極的にHPで行う必要がある。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体（該当者に○印）		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	（事業報告書）	（現地確認）		
個人情報の保護に関する法律及び条例に基づき、必要な措置を行う。	○		個人情報の保護に関して職員に周知し、適切に管理を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。 特に問題なし	事業計画のとおり実施されている。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

3. 自主事業

事業計画	実施主体（該当者に○印）		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	（事業報告書）	（現地確認）		
乗馬体験	○		瀬良垣ホースファームと共催で行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	屋外の自主事業は天候により左右されるため、計画どおりとはいかないが、通年実施されている。	【現状分析】 乗馬体験は、野外であるため4月から自主事業を行うことができた。また、コロナ禍が収束していたため、11月以降に計画をしていた屋内での自主事業を再開した。利用者ニーズに応えるため、県の備品貸出テントに加え、自主事業としてテント等の備品貸出を行っている。 【課題点】 コロナ禍の収束に伴い、自主事業を再開しつつあるが、利用者へ自主事業の周知をHP等でより広く行う必要がある。また、利用頻度の高いテント等備品（県）は、更新が必要になる。
備品貸出	○		指定管理者が主催として行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	
どんぐりクラフト作り	○		やんばるシェアリングネイチャーの会との共催で行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	
葉っぱでバッタ作り	○		指定管理者が主催として行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	
しめ縄作り	○		指定管理者が主催として行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施されている。	

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	○利用者数は施設利用制限の緩和により徐々に回復しているが、H27年度の遊具撤去前及びコロナ禍前と比べ、回復していない。積極的な広報活動を実施し、人の呼び戻しを行う必要がある。また、令和4年10月にリニューアルした2施設の研修室及び木工室の利用のPRをすべきである。

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度（令和5年度）の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	紙・Web	回答者数	134名	アンケート内容	別紙参照

評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題
		令和3年度評価	令和4年度目標	令和4年度評価			
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉 93% ・とても良い 53% ・良い 40% ・普通 2% ・やや悪い 5% ・悪い 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉98%(※1) ・とても良い 58% ・良い 40% ・普通 0% ・あまり良くない 2% ・悪い 0%	S 〈改善要望〉 ・遊歩道の整備が必要。 ・シャワールームを増設してほしい。 ・トイレを新しいウォシュレット付きに替えてほしい。 ・休憩用のベンチ、テーブルが欲しい。 ・遊具が少ない(滑り台を設置してほしい)(10件)。 ・キャンプ場に電源コンセントを設置してほしい。 ・Wi-Fiがない(設置してほしい)	(要望への対応) ・指定管理者単独での要望改善は厳しい。沖縄県と連携して改善していく必要がある。 ・休憩用ベンチについては、速やかに対応した。 (自己評価) ・遊歩道の整備については階段の小規模修繕等実施。 ・休憩用ベンチを4カ所に設置後、利用者より手書きの感謝文があり、良かった。	【現状分析】 軽微な施設修繕を指定管理者が実施し、大規模修繕や施設整備は、県が予算措置し優先順位を決めて実施している。 【課題】 屋外の施設は自然災害が原因で、大規模な修繕が必要な箇所が多くなっている。優先度の高い箇所から計画的に実施していく必要がある。
運営業務	接客対応	〈満足度〉98% ・とても良い 60% ・良い 38% ・普通 2% ・やや悪い 0% ・悪い 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉97%(※1) ・とても良い 55% ・良い 42% ・普通 3% ・あまり良くない 0% ・悪い 0%	S 〈改善要望〉 ・もっとホームページ、SNS等でPRしたほうが良い。 ・ホームページのイベント関係の告知がわかりずらい。	(要望への対応) ・森のふしぎ館、木のふれあい館のリニューアルに伴い、ホームページのリニューアルを行い。見やすくなった。 (自己評価) ・ホームページの改善及び周知のあり方についても速やかに対応できた。	【現状分析】 接客についてはアンケートで高く評価され、利用者の評価が高い。また、ホームページの見やすさにより、利用者へ県民の森の周知に繋がっている。 【課題】 今後も、施設利用方法の周知を丁寧に行っていく必要がある。
	施設・設備	〈満足度〉90% ・とても良い 52% ・良い 38% ・普通 3% ・やや悪い 5% ・悪い 2%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉96%(※1) ・とても良い 62% ・良い 34% ・普通 0% ・あまり良くない 3% ・悪い 1%	S 〈改善要望〉 ・トイレ掃除が不十分(虫がいっぱいいた)という指摘があった。 ・テントが壊れているという指摘があった。 ・施設が古く、展示物も更新されていないものがある。 ・歌碑や美術工芸品の解説説明文を設置してほしい。	(要望への対応) ・トイレ掃除は徹底するように職員に指示した。 ・壊れているテントは修繕した。 ・テントも経年劣化に伴い清掃点検後、不可を判断して貸出数を制限した。 ・歌碑や芸術工芸品の解説説明文は県と調整する必要がある。 (自己評価) ・人員不足のため、トイレの清掃が行き届いていない状態があった。人員を確保して対応していく必要がある。	【現状分析】 職員により施設は清潔に保たれている。備品貸出については、利用頻度の高いテントについて、県の備品に加え、自主事業としてテント等の備品を準備し、対応している。 【課題】 人員不足により、清掃が行き届いていないという指摘があるため、人員募集について考える必要がある。備品のうちキャンプ用テント（県）は消耗が早いため、定期的な更新が必要である。
	利用条件	〈満足度〉98% ・是非したい 60% ・機会があれば 38% ・どちらでもない 2% ・どちらかと言えばしたくない 0% ・利用したくない 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉97%(※1) ・とても良い 83% ・良い 14% ・普通 0% ・あまり良くない 2% ・悪い 1%	S 〈改善要望〉 ・閉門時間中、車で一旦抜けたいときの出入りが不便。 ・焚火を利用可にしてほしいという要望多数あり。 ・キャンプ場でエリアを分けてペット同伴を認めてほしい。 ・焚火禁止の周知をしていても守らない方については、チェックアウトの際に指導をした。	(要望への対応) ・閉門時間中にては、受付にて説明してきた。 ・焚火禁止の周知をしていても守らない方については、チェックアウトの際に指導をした。 ・焚火及びペット同伴についても同様に説明してきた。 (自己評価) ・キャンプ場での焚火利用、ペット同伴については今後の課題となる。	【現状分析】 キャンプ場で焚火の要望が多い。また、一部マナーを守らず焚火をする利用者がいるため、注意喚起を行った。 【課題】 近年のアウトドアブームもあり、ニーズも多様化している。来園者の増加につながる工夫を行っていく必要がある。また、焚火ができないことを利用者に広く呼びかけする必要がある。

	教室・プログラム	〈満足度〉－ （アンケートを実施できなかった）	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 アンケートを実施できなかった	―	（要望への対応） ・ホームページのイベント告知をわかりやすく改善する。 （自己評価） ・県主催のリニューアルイベント「わくわく木もくフェア」はたくさんの参加者が来ていただき、県民の森のPRになって良かった。	【現状分析】 リニューアルオープンイベントにより、利用者へ周知ができた。 【課題】 サービスの質の向上のため、アンケートを確実に実施する。今後、コロナ禍で中止したイベントや県民の森を活用できた新たなイベントを開催する必要がある。
				〈改善要望〉 通常公園アンケートより ・面白いイベント行われているがPRが少ない。 ・ホームページのイベント関係の告知がわかりずらい。 ・木工室があるので、木工体験教室などを開催してほしい。			
自主事業		〈満足度〉－ （アンケートを実施できなかった）	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 アンケートを実施できなかった	―	（要望への対応） ・足湯の要望は今後どうするのか県の判断に委ねる。 （自己評価） ・新型コロナの影響があり、久しぶりにイベント開催したが、参加者が楽しめているようで良かった。 ・イベント参加者へのアンケートを取り忘れたので気を付ける。	【現状分析】 コロナ禍でも乗馬体験を行う等の屋外での自主事業の工夫を行い、実施した。また、規制緩和後、自主事業の再開した。 【課題】 サービスの質の向上のため、アンケートを確実に実施する。今後も魅力ある教室・イベントを開催できるよう努力する。
				〈改善要望〉 通常公園アンケートより ・自主事業内で足湯を行ってはどうか。			
総合評価 （各評価項目の平均）		〈満足度〉95% ・とても良い　56% ・良い　39% ・普通　2% ・やや悪い　3% ・悪い　1%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉97%（※1） ・とても良い 64.5% ・良い　32.5% ・普通　0.75% ・あまり良くない 1.75% ・悪い0.5%	評価 （②満足度） S	（自己評価） ・県民の森を運営するにあたっての人員の確保が課題となる。 ・キャンプ場の焚火利用については要望が多いが、森林火災に繋がる可能性が高いので、今後の対応を検討する必要がある。 ・自主事業については、コロナ禍により大きなイベントは中止してきましたが、年度後半には体験学習を実施できたことは良かった。	【現状分析】 利用者は微増し、アンケート回収数が増加した。 （アンケート回収状況） 維持管理等　134件（R3年度 44件、R2年度 52件、R1年度100件） イベント 0件（R3年 0件、R2年度 0件、R1年度61件） 全体的に満足度の高い評価がされていた。 コロナ禍でも屋外での自主事業を行い、また規制緩和により自主事業の再開ができている。 【課題】 イベントに関するアンケートは小規模であっても極力回収できるようにする。施設の維持管理では、計画通り実施しているが、キャンプ場等の繁忙期はトイレ掃除の回数増等を検討する必要がある。 イベント、その周知を計画的に行い実施する必要がある。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※1 満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準（②満足度）】
総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

Ⅱ．サービスの質の確認・評価取組改善案	○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、更なるアンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。 ○自主事業の参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。 また、アンケートの回収率を上げる手法として、自主事業時にも行うことを検討する。

※「Ⅱ．サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度（令和4年度）の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1.　収支

(1) 収入　　単位:円

収入項目		R3年実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	R4年実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	シャワー室	116,000	250,000		277,800	239%	111%	
	キャンプ場	1,626,825	2,226,000		2,294,125	141%	103%	
	パークゴルフ場	406,510	400,000		394,420	97%	99%	
	広場	50,400	250,000		50,400	100%	20%	
	研修室	0	40,000		12,960	#DIV/0!	32%	
	木工室	0	34,000		12,410	#DIV/0!	37%	
	備品貸出料金	542,080	600,000		648,250	120%	108%	
	計	2,741,815	3,800,000		3,690,365	135%	97%	
指定管理料		27,543,000	27,543,000		27,543,000	100%	100%	
自主事業収入	電気使用料（NTTドコモ）	123,752	115,000		115,028	93%	100%	
	自動販売機	270,676	250,000		195,912	72%	78%	台数減
	イベント等	0	965,000		654,872	#DIV/0!	68%	
	計	884,008	1,330,000		965,812	109%	73%	
合計(A)		31,168,823	32,673,000		32,199,177	103%	99%	

〈現状分析・課題〉

シャワー室・キャンプ場・備品貸出の利用料金収入が前年度・計画より増加。研修室・木工室は10月から利用開始したが利用数が少ないため、利用促進に向けた取組が必要である。また、自主事業でコロナ禍で出来なかったイベントの再開だけでなく、イベントの幅を広げる必要がある。

(2) 支出　　単位:円

支出項目	R3年実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	R4年実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項(変更理由等)
人件費	18,961,079	20,933,300		21,284,765	112.3%	101.7%	
旅費	1,600	5,000		3,200	200.0%	64.0%	
修繕費	1,061,372	300,000		838,783	79.0%	279.6%	
委託業務費	4,792,300	4,774,000		4,771,700	99.6%	100.0%	
備品購入費	0	0		0	#DIV/0!	#DIV/0!	
食料費	2,436	10,000		389	16.0%	3.9%	
消耗品費	255,152	250,000		442,873	173.6%	177.1%	
印刷製本費	70,400	80,000		35,200	50.0%	44.0%	
役務費	657,561	646,000		658,261	100.1%	101.9%	
光熱水費	2,644,677	3,300,000		3,582,262	135.5%	108.6%	
燃料費	655,543	600,000		682,059	104.0%	113.7%	
使用料及び賃借料	757,260	760,000		1,079,731	142.6%	142.1%	
諸経費	325,868	50,000		5,000	1.5%	10.0%	
自主事業費（イベント）	13,600	821,000		4,310	31.7%	0.5%	
合計（B）	30,198,848	32,529,300		33,388,533	110.6%	102.6%	

〈現状分析・課題〉

○契約人数は計画より1名減だが、リニューアルオープン2施設による受付の確保により、雇用人の契約日数を増やしたため、法定福利費の支出が増えている。
○改修工事を終えたリニューアルオープン2施設による光熱費の高騰により光熱水費の支出が増えている。今後も支出増が見込まれる。
○2施設稼働後、衛生品やトイレットペーパー等の購入増により、消耗品費が増加している。
○老朽化した箇所の修繕が多かったため、修繕費が計画額より増額している。修繕箇所が多いことを踏まえたうえで計画金額を高く設定する必要があった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	R3年実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	R4年実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	969,975	143,700		−1,189,356	−123%	−828%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	3.1%	0.4%		−3.6%	−114%	−806%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	9%	11.6%		11.5%	130%	99%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	63%	64.4%		63.7%	102%	99%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	16%	14.7%		14.3%	90%	97%	委託費（設備管理費、保安警備費、廃棄物処理費の合計）
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	¥337	¥309		¥361	107%	117%	利用者数　92,456人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	¥307	¥261		¥298	97%	114%	

〈現状分析・課題〉

【現状分析・課題】
○利用料金収入が増えたものの、改修工事を終えたリニューアルオープン2施設の光熱費の基本料金の上昇、人件費増、修繕費・消耗品購入増加が事業収支のマイナスが考えられる。料金徴収の拡充及び自主事業の幅を増やすことで、収支をプラスにする必要がある。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	B

【評価基準（③財務状況）】
収益率（事業収支／収入合計）
Ａ： 0%以上
Ｂ：−5%以上、0%未満
Ｃ：−5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	○コロナ収束後に安全に開催できるイベント・体験教室などを実施し、施設の認知度向上と利用料金の増加につなげていく。 そのための広報活動も併せて行っていく。

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県と指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ. 総合評価

1. 目標

単位：人

	評価項目	評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	141,174	142,434	143,695	147,478	指定管理者が設定し、評価（100%以上）目標にする。
成果指標	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	A評価（80%以上）を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支計画を適切に見込み、A評価（0%以上）を目標とする。

2. 評価結果

	評価項目	評価指標	R3年度実績	事業計画（目標値）	R4年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価（点数）	取組改善案	令和5年度目標値
成果指標	①利用状況 P5転記	利用者数	89,740	105,386	92,456	103%	87.7%	【現状分析】 H28・29年度に遊具撤去に加え、コロナ禍により利用者数が半減しているものの、施設利用及び備品貸出制限の緩和により、利用者数は前年度より微増 （H27年度は約20万人）。 【課題】 新型コロナ収束後に来園者増加を目指し、リニューアルオープンした2施設を中心に広報活動に積極的に力を入れる必要がある。また、撤去された外部遊具の要望を求める声もあり、利用者ニーズを満たすうえでも遊具の整備が必要である。	B	○利用者数は施設利用制限の緩和により徐々に回復しているが、H27年度の遊具撤去前及びコロナ禍前と比べ、回復していない。積極的な広報活動を実施し、人の呼び戻しを行う必要がある。また、令和4年10月にリニューアルした2施設の研修室及び木工室の利用のPRをすべきである。	A
成果指標	②満足度 P9転記	満足度	95%	80%	97%	102%	121.3%	【現状分析】 利用者は微増し、アンケート回収数が増加した。 （アンケート回収状況） 維持管理等　134件（R3年度 44件、R2年度 52件、R1年度100件） イベント 0件(R3年 0件、R2年度 0件、R1年度61件) 全体的に満足度の高い評価がされていた。 コロナ禍でも屋外での自主事業を行い、また規制緩和により自主事業の再開ができている。 【課題】 イベントに関するアンケートは小規模であっても極力回収できるようにする。施設の維持管理では、計画通り実施しているが、キャンプ場等の繁忙期はトイレ掃除の回数増等を検討する必要がある。 イベント、その周知を計画的に行い実施する必要がある。	S	○多くの利用者の声を把握し、施設のサービス向上に繋げるため、更なるアンケートの回収率を上げるよう手法を検討する。 ○自主事業の参加者の満足度は非常に高いため、積極的に自主事業を実施し施設をPRすることで集客に繋げる。 　また、アンケートの回収率を上げる手法として、自主事業時にも行うことを検討する。	S
財務指標	③財務状況 P11転記	収益率	3.1%	0.4%	−3.6%	−115%	−891%	【現状分析・課題】 ○利用料金収入が増えたものの、改修工事を終えたリニューアルオープン2施設の光熱費の基本料金の上昇、人件費増、修繕費・消耗品購入増加が事業収支のマイナスが考えられる。料金徴収の拡充及び自主事業の幅を増やすことで、収支をプラスにする必要がある。	B	○コロナ収束後に安全に開催できるイベント・体験教室などを実施し、施設の認知度向上と利用料金の増加につなげていく。 　そのための広報活動も併せて行っていく。	A
活動指標	④重点取組事項	利用促進 自主事業 利便性向上 効率化、適正化 経費節減 安全安心　等	0	965,000	654,872	#####	68%	【現状分析・課題】 コロナ禍の影響により中止していたイベントが再開可能になりつつあるため、過去のイベントを参考に計画し、県民に向けての広報を行う必要がある。	C	○イベントの広報の強化や恩納村の近隣施設等へ宣伝、Webによるイベント開催情報発信等を行う。併せて、イベント開催に伴う低稼働施設の利用の向上を図る。	B
	総合評価	利用者からのアンケートより、利用者からの満足度が非常に高い。利用料金収入が増加しているものの、光熱水費、人件費等により事業計画事業に支出が増え、収支がマイナスになっているため、財務業況がBとなっている。 利用者数は、H28～29年度の遊具撤去等により利用者数が減少傾向であり、利用者からも遊具設置要望がアンケートにも記載がある。県が予算確保次第、遊具設置を設置することで、利用者数の向上に繋がると考える。							B		A

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。
※「令和5年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】
①利用状況
目標値に対する達成率
Ｓ：110%以上
Ａ：100%以上、110%未満
Ｂ：80%以上、100%未満
Ｃ：80%未満

②満足度
総合評価における満足度（各評価項目の平均値）
Ｓ：90%以上
Ａ：80%以上、90%未満
Ｂ：70%以上、80%未満
Ｃ：70%未満

③財務状況
収益率（事業収支／収入合計）
Ａ： 0%以上
Ｂ：-5%以上、0%未満
Ｃ：-5%未満

④重点取組事項
目標に対する評価
Ｓ：目標を大きく上回る
Ａ：目標を概ね達成
Ｂ：目標を下回る
Ｃ：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	―	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	−10	−10	−5	−5

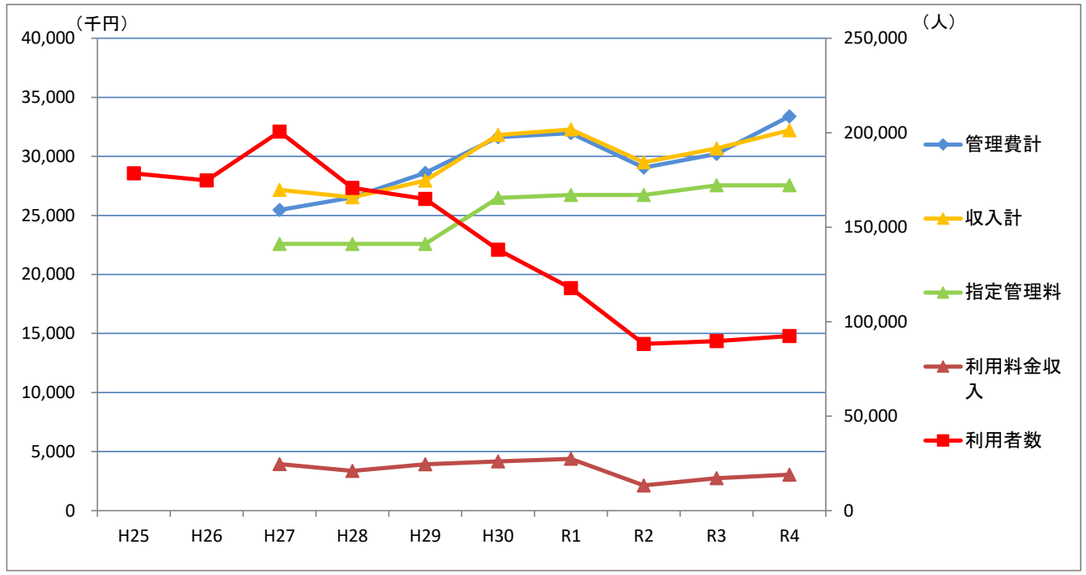
【総合評価基準】

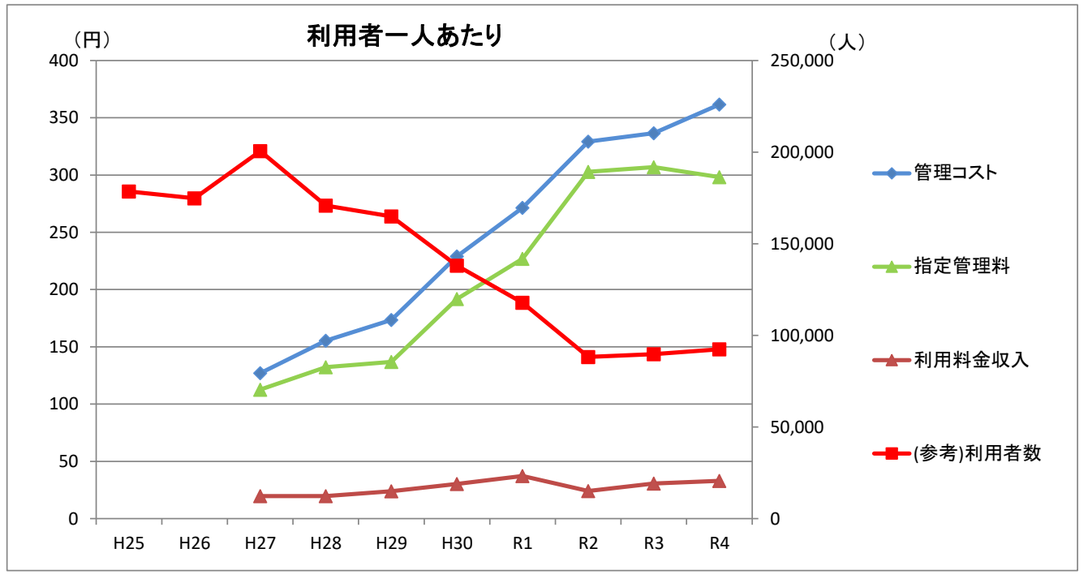
	総合評価基準
S	40点以上　かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:県民の森】

指標			単位	直営	指定管理																			
				H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	目標	人	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	159,927	159,927	141,784	114,545	105,386	141,174	142,434	143,695	147,478
		実績	人	180,748	204,195	183,070	173,537	167,089	171,804	156,856	169,916	178,480	174,814	200,557	170,839	164,955	138,098	117,783	88,233	89,740	92,345				
		目標比	%		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	86%	74%	62%	78%	88%	0%	0	0	0
		H17比	%		113%	101%	96%	92%	95%	87%	94%	99%	97%	111%	95%	91%	76%	65%	49%	50%	51%	0%	0%	0%	0%
財務指標	指定管理料		千円											22,588	22,588	22,588	26,477	26,723	26,723	27,543	27,543	27,625			
	県負担割合(指定管理料／管理費計)		%											88.7%	85.1%	79.0%	83.7%	83.6%	92.0%	91.2%	82.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	利用料金収入		千円											3,938	3,370	3,930	4,166	4,382	2,134	2,742	3,042				
	利用料金比率(利用料金収入／収入計		%											14.5%	12.7%	14.1%	13.1%	13.6%	7.2%	8.9%	9.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	収入計		千円											27,161	26,534	27,945	31,819	32,278	29,494	30,680	32,199				
	管理費計		千円											25,459	26,531	28,604	31,625	31,960	29,041	30,199	33,389				
	収支		千円											1,702	3	−659	194	318	453	481	−1,190	0	0	0	0
	収益率(収支／収入計)		%											6.3%	0.0%	−2.4%	0.6%	1.0%	1.5%	1.6%	−3.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
/単位	一人あたり管理コスト		円											127	155	173	229	271	329	337	362	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
/単位	一人あたり指定管理料		円											113	132	137	192	227	303	307	298	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
/単位	一人あたり利用料金収入		円											20	20	24	30	37	24	31	33	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。





実績変動の要因分析

令和4年度	ウクライナ情勢による光熱水費高騰、リニューアル2施設を開設したことによる人件費・電気代増により、管理費計が収入計を上回った。
令和3年度	令和3年度から宿泊キャンプを通年実施により、夜間警備費分を指定管理料微増した。2施設改修工事後、エアコン等の使用増のため、光熱水費の支出が前年度より増加。
令和2年度	コロナ禍により、利用者数、収入計が前年度より大幅に下がり、利用者一人あたりの管理コスト、指定管理料の負担が増加。一方で、2施設の改修工事により、人件費が抑えられたため、管理費計が前年度より下がった。
令和元年度	利用者数が減少傾向であるが、宿泊・日帰りキャンプの利用増により、利用料金収入が増加している。利用者数減少・消費税増により、利用者数一人あたりの管理、指定管理料が増加している。
平成27年度	大型滑り台遊具等撤去前のため、利用者数が約20万人である。利用者数が多いため、収支が高く一人あたりの管理コスト・指定管理料が低い。

別紙５

労 働 条 件 等 自 主 点 検 表

施設名称	沖縄県県民の森	対象年度	令和4年度
指定管理者名	沖縄北部森林組合		

※　次の確認事項について、「指定管理者による確認結果」欄の該当する箇所に〇又は必要事項の記載をお願いします。

確認事項	指定管理者による確認結果
1　労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。 労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません。（労働基準法（以下「法」という　　。）第15条）	<table><tr><td>就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</td><td>労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</td><td>労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</td><td>労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</td><td>労働契約締結時には明示していない</td></tr><tr><td>(1)</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr></table> （３～５については、改善が必要です）
2　就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また、就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。 常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません。（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません。（法第106条）	<table><tr><td rowspan="2">常時使用する労働者は10人未満である。</td><td colspan="4">常時使用する労働者が10人以上である</td></tr><tr><td>作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</td><td>作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</td><td>作成してあるが、監督署に届け出ていない</td><td>作成していない</td></tr><tr><td>1</td><td>(2)</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr></table> （３～５については、改善が必要です）
3　所定休日 所定休日をどのように定めていますか。 休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません。（法第35条）	<table><tr><td colspan="4">週休2日制</td><td colspan="2">週休１日制</td><td>その他</td></tr><tr><td>完全（毎週）</td><td>月３回</td><td>隔週</td><td>月１～２回</td><td>週１日</td><td>４週４日</td><td>４週３日以下</td></tr><tr><td>(1)</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr></table> （７については、改善が必要です）

<table>
<tr><th>確認事項</th><th>指定管理者による確認結果</th></tr>
<tr><td>４　年次有給休暇
　年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

　年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません。（法第39条）</td><td>
<table>
<tr><td>法定どおりの年次有給休暇を与えている</td><td>年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている</td><td>年次有給休暇を与えていない</td></tr>
<tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr>
</table>
（２、３については改善が必要です）

※年次有給休暇の法定の付与日数表（週所定労働日数が５日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。）
<table>
<tr><td>勤続年数</td><td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>4.5</td><td>5.5</td><td>6.5以上</td></tr>
<tr><td>付与日数</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td><td>18</td><td>20</td></tr>
</table>
※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。
</td></tr>
<tr><td>５　健康診断
　定期健康診断を実施していますか。

　常時使用する労働者については、年1回定期に健康診断を行わなければなりません。（労働安全衛生規則第44条）
　なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期に健康診断を行わなければなりません。（労働安全衛生規則第45条）</td><td>
<table>
<tr><td>毎年１回以上定期的に行っている</td><td>年によって行ったり行わなかったり一定しない</td><td>行ったことがない</td></tr>
<tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr>
</table>
（２、３については、改善が必要です）
</td></tr>
<tr><td>６　最低賃金
　地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

　なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。
　①臨時に支払われる賃金（結婚手当等）
　②1月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与等）
　③所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
　④精皆勤手当、通勤手当、家族手当</td><td>
<table>
<tr><td>支払っている</td><td>支払っていない</td></tr>
<tr><td>①</td><td>2</td></tr>
</table>
（２については、改善が必要です。）

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金（B)の比較方法】

（時給制の場合）

時間によって定められた賃金（時間給）　≧　地域別最低賃金（時間額）
(A)　(B)

（日給制、週給制、月給制の場合）

日、週、月等によって定められた賃金　÷　当該期間における所定労働時間数（日、週、月によって所定労働時間が異なる場合には、それぞれ1週間、4週間、1年間の平均所定労働時間数）　≧　地域別最低賃金（時間額）
(A)　(B)
</td></tr>
</table>

確認事項	指定管理者による確認結果
7　割増賃金 　時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。 　法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働（午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。）については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません。（法第37条） ※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。	時間外労働・深夜労働について ２割５分以上の割増率にしている ／ ２割５分未満の割増率にしている ／ 時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない （1） ／ 2 ／ 3 （２、３については改善が必要です。） 休日労働について ３割５分以上の割増率にしている ／ ３割５分未満の割増率にしている ／ 休日労働をさせているが、支払っていない （1） ／ 2 ／ 3 （２、３については改善が必要です。）
8　雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入 　当該指定管理施設で勤務する従業員は、雇用保険、健康保険及び厚生年金保険に加入していますか。 　また、未加入者がいる場合は、その理由を記載してください。 ※調査対象となる従業員は、雇用形態（正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等）に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員（令和〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員）となります。	従業員数：10人 雇用保険：加入数 9人／未加入数 1人 健康保険：加入数 8人／未加入数 2人 厚生年金保険：加入数 8人／未加入数 2人 保険の名称：雇用保険 ／ 未加入者がいる理由：ダブルワークのため、メインの事業所で加入している。 保険の名称：健康保険 ／ 未加入者がいる理由：加入条件を満たしていないため。 保険の名称：厚生年金保険 ／ 未加入者がいる理由：加入条件を満たしていないため。